

エリスは豊太郎を愛していたか？

私がなぜこのテーマを選んだかという、どうもエリスは豊太郎のことを本気で愛していたみたいな感じで終わるのだが、私はそれが不自然に感じられてならない。矛盾が多く存在している気がするのだ。

私は結局エリスが豊太郎を金目的で利用していたと考える。もしくは考えたほうが腑に落ちる。これからはいくつかの矛盾点や不思議なところを挙げそれに対する納得のいく考えを話そうと思う。

まず1 エリスが人気の多い通りで泣いていたのはおかしくないだろうか。ここでのエリスの話によると、父を無くしたが金がないため葬式ができず困っているらしい。これは真実であろう。私はここでエリスは誰かに助けてもらおうのを狙っていたのだと思う。エリスが豊太郎に助けを激しく請うているところやエリスの状況から見てもこれは間違いないと私は思う。ここで私が言いたいのは豊太郎との出会い、もしくは付き合いは、恋愛なものではなく、エリスが豊太郎を利用することから始まったということである。哀れ豊太郎。この男は利用されている自覚がない。

その2 エリスが豊太郎がドイツをでていくことを反対するのではなく豊太郎が行きにくくなるような口調、言葉で説得していることである。諭していると言うほうが当てはまるか。これはエリスが豊太郎に恋愛感情を抱いているからだという説明もできるかもしれないが、私は金ヅルの豊太郎を失いたくないと思っているのだと考える。もし本当に恋愛感情でそういう引き止め方をするのなら普通真っ向から否定するであろう。

「いや！いかないで！」や「あたしはあなたを愛しているの！」など。

それを

「まさかあたしをおいていかないでしょうねえ？」なんて言うのは豊太郎をなんとかしてでも引き止めてドイツにとどまらせることを第一に考えている発言ではなからうか？

また、そんなことからエリスの性格は決して良くはないことがわかる。

その3 エリスが勝手に子供が生まれてくる準備を整えていたのはおかしくないだろうか？明らかに豊太郎に責任をとらせドイツに残らせようとする意図が丸見えである。

ただここでひとつ疑問がある。エリスはなぜパラノイアにかかったのかということである。もしエリスが豊太郎を愛していたのなら説明がつくのだが金目的だとあまり説明がつかない。

そこで私はこう考える。あくまで私的な意見だがエリスは人を利用するほどプライドが高く、そんな女ほど人に裏切られるたり手のひらの上で転がされたりすると癩癩を起こすと私は思う。現に私はそういう女性を知っている。だからエリスは豊太郎がドイツに残るように一生懸命仕向けていたが、結局水の泡に終わってしまったことでプツンと切れて癩癩をおこしたのだと思う。

これで私のこのテーマに対する考察は終わりだが、恋愛感情だったといってもある程度説明がついてしまうこと、また全ては豊太郎目線で書かれているため本当のことは解らない。だが私は以上で述べたみたいに考えると納得がいくし、そのほかの考え方はどこか解せない。色々な見方があると思うのだが私はこう考えるというだけのことである。

私は人の見方が多い文章ほどいい文章であると思う。舞姫はそれのひとつであると思う。だから私はもっと別の方向からのアプローチも試みたいと思っているし、正反対のことも考えたりもしたい。次への課題はそこであると私は考えている。